

おれんじ通信

おれんじの会（山口県特発性大腿骨頭壊死症患者会）
事務局：〒755-0035 山口県宇部市西琴芝 2-14-17-703
TEL090-5551-9557
Eメール：yorangeion@yahoo.co.jp

難病・慢性疾患全国フォーラム 2012

『すべての患者・障害者・高齢者が安心して暮らせる社会を
～患者・家族の視点から新しい難病対策を～』

日時：11月24日（土） 12：40～17：00（予定）

場所：日経ホール（東京都千代田区大手町1-3-7日経ビル3階）

おれんじの会は賛同団体として第1回より関わってきました。今回も、実行委員会に向けてアンケートの回答などを通じて要望や企画提案など発信しています。東京近郊のかたは是非、ご参加ください。詳細は実行委員会事務局まで。

● 事務局

一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会（J P A）
TEL：03-6280-7734 Fax：03-6280-7735

平成 24 年度難病交流会、医療講演会の予定

西部；平成 24 年 10 月 21 日（日）

宇部市シルバーふれあいセンター

講演；シンポジウム『難病患者の支援について』

座長：山口大学医学部神経内科教授 神田 隆先生 14時から16時

交流会：11時から12時

東部；平成 24 年 11 月 4 日（日）

周南総合庁舎さくらホールほか

講演：「網膜色素変性症治療の最新の知見とロービジョンケア」講師：木村和博先生

交流会：13時から14時

中央；平成 24 年 11 月 24 日（日）

防府市地域協働支援センター（ルルサス防府）

講演：「診断と告知における心と体の反応」

講師：山口リハビリテーション病院臨床心理士 久保田 真理子先生

暮らしに役立つ公的制度の豆知識

障害年金について解説します。障害年金も国民年金と厚生年金の二階建て構造になっています。65 歳以前に病気・障害の悪化のために働けなくなった場合、障害年金を受けることができます。65 歳をすぎると、障害年金か厚生年金かのいずれか一方を選択します。障害年金を受けていたことで厚生年金が減額されるということはありません。

障害年金を受けるにあたっては、社会保険事務所で所定の診断書様式をもらい、主治医に診断書を作成してもらうこととなります。ここで大切なことは 3 点あります。①初診日、②初診の状態、③1 年 6 ヶ月経過したときの障害の状態。これらをきちんと証明してもらうには、年月が経ってしまうと主治医や病院が変わっていることも多く、最悪の場合カルテがない、病院がなくなってしまったといった事例も少なくないそうです。

まだまだ働けるから、ぎりぎりになってから手続きをしようとする一般的には考えますが、福祉の専門家に訊くと早いうちに証明してもらうことをお勧めしますとのことでした。一度障害の認定を受けておき、「障害年金の裁定」(1 年 6 ヶ月時)を出してもらうことで、将来の対処が簡単に済むからだそうです。たとえ今回が「非該当」になっても基礎データが残っていますから、後に悪くなったときもう一度「障害等級の改定請求」が円滑にできるということです。

なお、障害年金の等級と身体障害者手帳の障害の等級とは一致しないところが多々あります。また、障害基礎年金は 2 級以上なのに対し、障害厚生年金は 3 級があります。(たとえば人工股関節は厚生年金の障害等級 3 級に該当します。)

運転補助装置

右脚でのアクセルやブレーキペダルの操作が股関節の痛みのために不自由になったとき、左脚での操作に変えることができます。運転補助装置といって、認可された(フジコンなど)製品のみ指定の工場での取り付けを条件として使えるようになっています。ベースとなるのは今乗っている車です。ディーラーから連絡を取ってもらえます。補助金が 10 万円あり、製品価格がほぼ同額です。ただし補助金については所得制限があります。

〔体験談〕実物は、アクセルペダルに連結したロッドを介して左側に新しいペダルが来ているタイプです。ブレーキは元のままです。つまり、左アクセル、中央(右)ブレーキということになります。私の車は軽自動車で、パーキングブレーキは手動型です。

慣れるまでは、左アクセル右ブレーキがすごく怖かったです。しかし、慣れてきたときにもっと恐ろしいことがありました。「ふみ違い」です。1 回目は駐車場にバックで車を止めているとき。車止めにあたるのでそろそろ停車とブレーキを踏み込んだつもりが、アクセルで暴走。車止めを乗り越えて後ろの植え込みに突っ込んでしまいました。2 回目は横道から本線に出ようとして、車が来ているのでとまって待とうとしたら、逆に飛び出してしまう、あわや衝突かというところ、相手が急停止してくれて助かりました。以来は「左アクセル右ブレーキ」と呪文のように唱えつつ運転していました。

この装置ですが、ペダル部分だけワンタッチではずせますので、家族と共有したりする車のときははずして普通の運転が可能になりますから、ご心配なく。



中央のブレーキはそのままです。右アクセルの踏み込みを防止するストッパーが覆っています。左にあるのがアクセルペダル、奥は元からあるフットレストです。

福祉車両について

福祉車両（ウェルキャブ）が各メーカーから色々と発売されています。介護者の人が要介護者を乗り降りさせやすいように助手席がスライドしたり回転したりして出てくるタイプや、乗ってきた車椅子を積み下ろしするのにリフトで昇降させるものなどお世話するためのものは従来からありました。最近では、運転者自身が車椅子利用者である場合に対応して、乗ってきた車椅子を吊り上げて屋根の上へ格納できる装置がついたものも普及しています。販売店の福祉車両担当者の話では市販車をベースにして、障害のある人がどのような不自由があり、どんな車がほしいのかを個別に対応して高さや幅、ペダルの位置などほぼオーダーメイド可能とのことでした。気になるお値段ですが、前述の車椅子を屋根の上に格納するタイプになると本体価格に追加で約 40 万円程度かかるようです。（プリウスの場合）

編集後記

ロンドンオリンピックを観戦していたらいつの間にもやら消費税の値上がりが決まっていました。標準的な家庭で、年間約 30 万円の増税になるといいます。これまで以上に節約生活を心がけなければたいへんです。ただ、戦中戦後体験者の母たちの世代にいわせると私たちの日常はまだまだものがあふれていて贅沢なのだそうです。夏休みに帰省して「これ、着たら」と出された T シャツは私が中学生時代のもの。古いといっても、全く問題ないものでした。まだまだ使えるものがあるのに次々と新しいものを買すぎていなかったかと反省した次第です。（渡邊利絵）